

## 第7回 子育ての視点で見えてくる成長するチカラを伸ばす、「空間づくり」。

子どもが自ら育とうとするチカラに目を向ける「子育て」の視点。前号では、子どもの「テリトリー意識」が発達段階により変化していくことから、「子どもの居どころ」、「親の居どころ」についてお話ししました。今号では、これまでの考え方をまとめました実践編として、「幼児期・児童期における、遊び・学びの「空間づくり」を考えてみましょう。

### 小さい頃は子どもの遊びを見守る。

ハイハイを卒業し、立ち上がりだした頃から、子どもの世界は飛躍的に広がっていきます。身体的な面はもちろん、お友だちと遊ぶことを覚えだし、社会性も身につけていく時期です。でも、パパママの気配が感じられる場所でないとい、まだまだ安心して遊ぶことはできません。この時期は、スタイリッシュな暮らしは、ちよつとおあずけ。リビングを子どもの遊び場としてつくったり、家事も家族で楽しむ工夫が必要です。

### テーブルに居ることに慣れてほしいから子どものための座卓テーブル

親の目が届く範囲とは言え、自我が出てくるこの時期。リビングの隅に入ったところを、あちこち移動したい。そこで活躍するのが子ども専用の座卓テーブルです。お絵描きをしたり、絵本を読んだり、おやつを食べたりと、遊び場になるとともに、床遊びだけでなく、きちんとテーブルを使うことへの慣れが、学びの二歩にもなります。

### 明日も続きをしてほしいから構築遊びのための床スペース

積み木やプラレールタウン、段ボールハウスなどの創造的な構築遊び。その楽しみは、継続して創り上げてこそ感じられ、忍耐力、集中力を伸ばすことにつながります。生活動線のさまたげにならないところに、まとまった床スペースが確保できれば、積み木などを作った状態にしておくことができます。

### お片づけしやすい工夫を小さいうちから習慣づけるお片づけ箱

お片づけは初めが肝心です。段階を追って仕掛けを変化させましょう。まず、すぐに手の届く場所に箱を置くことから。分別せず、どさうと入れるだけでも充分です。慣れてきたら次は引き出しにしてみましょう。楽しみながら、分けて入れることを覚えれば、引き出しの場所が遠くても、きつと大丈夫。簡単なことから、段々と遊びに「はじめ」をつける習慣が身につけていきます。

### 小学校に入ったから、学びを分けて。少しずつ、子ども専用スペースをつくる。

子どもが小学校へ通うことになったら、「学び」のベースが必要になります。でも、すぐに学習机を用意する必要はありません。子どもの学びの場は、段階を追って、親の目の届く範囲から徐々に移動させ、独立性を高めていきます。また、きょうだいがいるときは、上の子、下の子、それぞれの段階にあわせて柔軟に空間の使い方を工夫します。

### 子どもの学びをきちんと見守るための親子で並べるテーブル

児童期前期は、まだまだ親依存の大きい時期。学習も、子ども入でははかどらないため、親が一緒に見てあげることが大切です。本読みなどの宿題をする場所として、リビングのそばに親子で並べるテーブルを用意すると便利。ダイニングテーブルを使うときは、食事と学習の切り替えに配慮するといいでしょう。また、リビングにランドセルなど学校で使うものが散らかりかちになりますが、専用の収納を用意してあげて、整理をすすめます。

日々変化していく子どもたち。空間が担う役割も、成長の段階に応じて異なります。大切なことは、今、自分の子どもが何を楽しめ、何を求めているのかを、親が見つけていること。グランドメゾンには、そんな理想の子育て環境をしつらえられる住空間づくりを通して、健やかに成長する子どもと、パパママを応援します。

### 子どもが自ら育つ力を応援する、グランドメゾンの住空間。

#### 遊びの空間 ステージリビング



高低差により、ひと続きの空間に変化を生み出すステージリビング。遊ぶ子どもと、見守る親の間に、適度な距離感を保つことができます。ここでは、一段上がった和室がその役割を果たしています。

▶グランドメゾン熱田の杜

#### 学びの空間 ロングカウンターキッチン



子どもがお手伝いしやすい、ゆとりある広さのキッチンスペース。楽しみながら家事にふれる機会が生まれます。

▶グランドメゾン伊丹池尻 リテラシティ

## 児童期 子どもの“学び場”をだんだん独立させていこう

### 上の子 児童期前期、下の子 幼児期

二人とも親の目の届くリビングに。お兄ちゃんには“学び”の机。妹には遊びのスペース。



### 上の子 児童期後期、下の子 児童期前期

二人一緒の子ども部屋。並んだ机にはちよつと仕切りを。妹は、お部屋はあっても、リビングでお勉強をしたい。



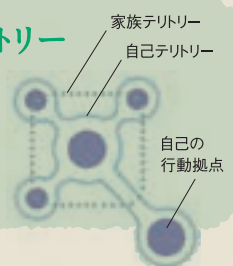
### 上の子も下の子も、児童期後期以降は独立

それぞれ大人に近づいたら、プライベート空間を確保。自立へ向けての準備です。



### 児童期のテリトリー

家族テリトリーの外にも行動拠点が広がり、外の世界で様々な経験を積んでいきます。

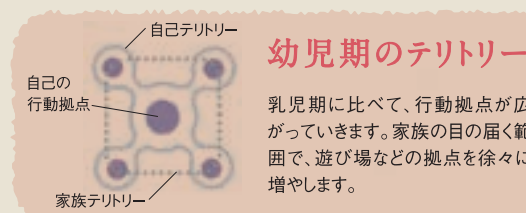


## 幼児期 リビングに、親の目が届く“遊び場”をつくろう

“使う”ことで“学び”につながる道具や空間づくりの工夫で、リビングでの遊びが、いっそう豊かになります。

### 幼児期のテリトリー

乳児期に比べて、行動拠点が広がっていきます。家族の目の届く範囲で、遊び場などの拠点を徐々に増やします。



家事への興味を引き出すワイドなキッチン

“構築遊び”のためのフローリングの床



きちんと座って学びの一步 座卓テーブル



小さな頃から“はじめ”を学ぶ おもちゃ箱収納



高低差による視界の変化が楽しい 大型の遊具